

平成 28 年度 事業報告書

平成 28 年 4 月 1 日 から 平成 29 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人いのちにやさしいまちづくりぽぽぼねっと

☆いのちのスープの会

■企画全体評価と反省点

当初 28 年度の活動は休止の方向で検討したが、規模は小さくともつなげようとの思いで継続を試みた。しかしながらスタッフの多忙としあわせのいえの環境が大きく変化する中でスープの会としての活動は出来なかった。

28 年度の経過を踏まえ、いのちのスープの会を次年度以降も継続することは困難と判断し、当面いのちのスープの会の活動は中止とする。ただし玄米スープの供給については、今後も要請があれば事務局活動の中で継続していく。

☆ぽぽぼ聞き書きの会

<部会報告>

■企画全体評価

チャレンジ事業の対象とならなかった第 1 回聞き書きカフェと全開催分の軽食について担当した。まずまずの参加人数で初めての方にも興味をもって頂けた。

○H28 年 6/4 (土) 10 名 ややのいえ 講師：天野良平先生

■反省点

チャレンジ事業の助成金対象期間が 7 月からだった為、第 1 回目と第 2 回目以降の活動を分けることとなり、非常に活動しにくかった。

■その他特記事項

平成 29 年度はチャレンジ事業に応募せず、引き続き聞き書きカフェを定期開催し、聞き書きの意義や魅力を広めていく。

・聞き書きカフェ：偶数月の第一土曜日 10 時～12 時

実施日：4/1, 6/3, 8/5, 10/7, 12/2, 2/3 計 6 回

※参加者の要望があれば、おでかけ聞き書きや特別講座も開催予定

・その他：市民病院の緩和ケア病棟にて実施

<チャレンジ事業分>

■企画全体評価

聞き書きカフェを偶数月の第一土曜日 10 時～12 時まで定期開催した。

又、特別講座として小田豊二先生をお招きし、聞き書きの実践講座を開催した。

○H28 年 8/6 (土) 16 名 ややのいえ 講師：藤塚幸雄先生

○ 10/8 (土) 12 名 ややのいえ 講師：天野良平先生

○ 12/3 (土) 6 名 ややのいえ 講師：天野良平先生

○H29 年 2/4 (土) 4 名 ややのいえ 講師：天野良平先生

○ 2/11 (土)・2/12 (日) 30 名 ややのいえ 講師：小田豊二先生

他、小松市民病院緩和ケア病棟のボランティアに 2 名登録し、6 回参加した。

定期開催することで、医療保健福祉従事者、教師や一般の方々などさまざまな方の参加につながった。参加者は小松市内はもとより、市外からは白山市・能美市・金沢市・穴水町、県外からは富山県・福井県・滋賀県まで会員の輪を広げる事ができた。又、開催にあたり、医療・教育分野へ広く啓蒙活動を行い、市民病院緩和ケア病棟のボランティアの方々にも聞き書きの魅力を伝える事ができた。

☆障がい児・者の居場所づくり

■企画全体評価

- ・「バリアフリーマップ+」制作の活動が、小松短期大学の授業に組み込まれ、関わる学生が増えた。
- ・既バリアフリー調査施設へ小松短期大学の学生さんと同行し、設備の確認が出来た。
- ・障がい者に関わるイベントに参加、交流し、「バリアフリーマップ+」の紹介が出来た。
- ・小松短期大学内で「バリアフリーマップ+」検索のシステムが構築された。
- ・「第18回石川県バリアフリー社会推進賞」の募集要項に前年度の入賞者として紹介された。

■反省点

- ・「バリアフリーマップ+」の調査様式の確認の遅れで、新規調査が出来なかった。
- ・対外的イベントが開催出来なかった。

■その他特記事項

協働機関の組織変更、担当員の交代に伴い、連絡調整に確認が必要となった。

☆子育て中の親子の育成事業 <そらまめ教室>

■企画全体評価

- ・本年より実施会場が変わったことによる参加者への影響を危惧したが、特に問題なく実施できた。町屋の個人宅で、座卓を囲んでの相談は母子ともに緊張せずに過ごしているように見受けられた。
- ・新たに実施した抹茶のいただきは、子育てしながらではなかなか参加できない事であり、特別な非日常の時間をもてたことに母の満足感があり好評だった。
- ・児の月令に関わらず食事に関する母のいらいらや悩みの相談が多くあった。
毎回の親子のおやつタイム時に、児の食事に関する発達状況や母親の関わり方を実際に見ることができ、先輩ママやスタッフが具体的に助言でき、母は納得して聞いていた状況がみられた。
- ・スタッフ9名がこの事業の趣旨をしっかりと理解しており、協力して45回の事業に対応できた。

■反省点

個別相談と訪問相談の依頼が後半無かった。すこやかセンターの担当者に変更があり、要請を待つばかりではなく、こちらからの問い合わせが必要であったのではないかと？前半はこちらからすこやかセンターに紹介して相談につながったケースがあった。

■その他特記事項

コミュニティスペース友の持ち主が、駅前にも「友」を開設した。そちらでそらまめ教室を開催できないかとの依頼があり、スタッフと検討中で返事は保留としている。

教室開催日以外に参加者から数件電話やメールで相談があり、その件の取り扱いについてすこやかセンターと来年度に向け話し合いを持つ予定である。

※参加人数　　<教室>　大人 148 名　子供 150 名
 <相談>　大人 9 名　　子供 8 名
 <訪問>　大人 1 名　　子供 2 名

☆次世代育成事業

■企画全体評価

小松市主催で「こまつ認知症ケアコミュニティマイスター養成講座」を 10 回に渡り実施した。27 名の受講者が講義受講のみでなく、参加動機のレポート、自分の排尿排便チェック、聞き書き、アクションプランの立案・実践をし、24 名（約 89%）がアクションプランの発表を実施できた。最初は職場から言われて参加された人もいたが、徐々に他の事業所の方との仲間作りもでき、アクションプランを実践する際には、他事業所同士で一緒に行うなど積極的に行動できるように変化していった。参加者の感想からも「参加して自事業所のみで完結するのではなく、他の人たちと一緒に意見交換したりするのが非常に楽しかった」など、今後も前向きに活動していきたいとの声をたくさん頂いた。

<参加者数>①27 名 ②34 名 ③34 名 ④30 名 ⑤34 名 ⑥26 名 ⑦23 名 ⑧29 名 ⑨40 名
 ⑩65 名

■反省点

- ・ボランティアの方との会議を重ねながら当日の役割分担などは上手くできたが、会議開催日の調整やお知らせ方法、ドロップボックスの効率良い活用法を検討する必要がある。
- ・事務局としての業務が集中しすぎるため、次年度はしっかりと役割分担を実施したい。
（案内窓口、一般公開講座の事業所の案内送付、チラシ作成、議事録の作成や会計、小松市への連絡・提出書類の作成、弁当発注、謝礼金準備、講師への事前案内など）
- ・会場予約は小松市を通じて実施していたが、変更依頼をする際などに上手く伝わらずに迷惑をかけた。

■その他特記事項

- ・事業所などへ案内通知をする場合には、主催である「小松市」の封筒を使用すると反応が良かった。
- ・小松市からの事業委託金は 1,200,000 円だったが、封筒代 5,460 円と会場借用費 104,050 円を引いた金額 1,090,490 円で再契約を行った。

☆ぽぽぽいのちの学校

■企画全体評価

いのちの学校としての定期企画を 3 回、特別講演会を 1 回実施した。

様々な視点から“いのちについて考える”企画になった。特に、講義の後の座談会では参加者同士のつながりが深まる場になっており、様々な意見交換ができて好評だった。

① 第 13 回 いのちの学校（参加者：33 名）

「あきらめない力 ～リハビリテーションと街づくり～」酒向正春先生（脳リハビリ医）

② 第 14 回 いのちの学校（参加者：13 名）

「乳がん治療最前線」吉野裕司先生（石川中央病院、外科医）

③ 第 15 回 いのちの学校（参加者：22 名）

「ひとりを生き抜く力 ～老いと自立は知恵しだい～」春日キスヨ先生（臨床社会学）

④ 特別公演（参加者：120 名）※定員 120 名

「星を見上げていのちを想う ～宇宙と私たちをつなぐ物語～」高橋真理子先生（宙先案内人）

ひととものづくり科学館・小松市と共同主催、金沢大学社会教育研究振興会共催

■反省点

- ・ぽぽぽの入会案内の準備をするのを忘れることが多く後手になってしまった。
- ・毎回案内を出すのが遅くなった。
- ・参加者の事前把握が難しかった。
- ・開催スタッフがいつも同じメンバーになるためスタッフがじっくりと内容が聞けない。

■その他特記事項

- ・今後はホームページからも直接参加申し込みができるようになるとやりやすいと思う。
- ・鈴木校長先生が転勤のため平成 29 年度より校長先生は変更となる。

☆事務局&魂のいちばんおいしいところ

■企画全体評価

1. 平成 28 年度は 9 回の部会長会議と 10 回の事務局会議を開催。その多くを合同で行い、各部会と事務局の意思疎通の強化を図った。
 - ・ 4 月 6 日：部会長・事務局会議…H28 年度部会長の紹介と理事会報告
 - ・ 4 月 28 日：事務局会議…定時総会に向けた打ち合わせ&ややのいえ賃貸契約の確認
 - ・ 5 月 10 日：部会長・事務局会議…部会活動報告、会計監査報告、定時総会準備
 - ・ 6 月 7 日：部会長・事務局会議…部会活動報告、定時総会準備
 - ・ 7 月 12 日：部会長・事務局会議…部会活動報告、魂のコンサート打合せ、登記報告
 - ・ 8 月 9 日：部会長・事務局会議…部会活動報告、
 - ・ 9 月 8 日：部会長・事務局会議…部会活動報告、ぽぽぽつうしん打合せ、魂のコンサート
 - ・ 10 月 19 日：部会長・事務局会議…部会活動報告、中間決算の件、魂のコンサートの件
 - ・ 2 月 8 日：部会長・事務局会議…部会活動報告、年間決算と次年度に向けて
 - ・ 3 月 8 日：部会長・事務局会議…部会活動報告、H29 年度行事日程打合せ
2. ホームページは定時総会報告と事務所移転の報告は行ったが、それ以降の活動による更改が進められなかった。プロバイダーをユーミンからさくらインターネットに変更完了を機に H29 年度は自主的な編集が可能となるように大幅な改訂を計画する。
3. 事務局メンバーの常駐は中道氏に委託して実施した。

■魂のいちばんおいしいところ部会

当部会は部会長会が中心となってぽぽぽねっこの全体行事を担当することとした。

H28 年度は魂のいちばんおいしいところコンサートを計画したが、ゲストのスケジュールの都合で H29 年 4 月の開催となった。